

川島地区CS小中学校共通学校評価アンケート【市立川島中学校生徒】考察

実施時期 1月16日～27日 20項目

対象者 保護者127人中113人回答 回収率 89%

★R4実施の全国学習状況調査中3対象のデータと比較しています。

(1) 肯定群「とてもそう思う」「そう思う」が80%を超えていた上位9項目

- 問7 いじめはどんな理由があってもいけないことだ 96%
- 問2 学校に行くのは楽しい 96% ★全国83%
- 問18 交通マナー（並進しない、一旦停止など）を守っている 94%
- 問3 友達と協力するのは楽しい 91%
- 問5 家族や友達、近所の人に自分から元気にあいさつしている 86%
- 問4 人が困っているときには、進んで助けている 85%
- 問17 自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている 85%
- 問10 学校では集中してまじめに勉強できている 84%
- 問15 チャイムの合図や時間は守れている 81%

(2) 肯定群「とてもそう思う」「そう思う」が低い70%以下の下位6項目

- 問19 できるだけ本や新聞を読むようにしている 33%
- 問9 授業や行事など発言の場面で自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している 54%
- 問9 将来の夢や目標を持っている 59% ★全国67%
- 問8 積極的にスポーツをして体を鍛えている 58%
- 問1 自分にはよいところがある 68% ★全国79%
- 問13 毎日かかさず、家でも勉強している 69%

(3) 考察

- ・3校共通の「学校教育目標」の実現、共通部分である「知徳体の調和のとれたたくましい人づくり」「人権を尊重し自他ともに大切にできる人づくり」の視点を重視してアンケートの問いや全国学力学習状況調査を基に作成していました。20問中10問について、肯定群の回答が8割を超えており、おおむね達成しているとみてよいと考えます。いじめのない学校、友達と協力するのが楽しく、学校に行くのが楽しいと考える生徒が9割いることが分かります。コロナ禍にあって、感染防止対策をして行事や話し合い活動を実施したことが効果として表れています。
- ・生徒は人が困っているときには進んで助け合い信頼関係が基盤となって、学校生活を楽しくさせています。また、一人一台端末タブレットPCを用いた授業の展開により、楽しさが増えています。
- ・真面目に授業に取り組み、時間やルールを守り、自分で決めたことはやり遂げたという達成感が得られた生徒が多いことが分かります。
- ・一方、問19 本や新聞などの紙媒体からの情報離れが最も深刻であることが分かります。文化図書委員会が中心になって、「おすすめの本の紹介」等の活動をしています。
- ・家庭学習習慣、運動習慣、将来の夢や目標があるかどうかの3点については肯定群が低いことが課題です。ネット依存が深刻な生徒が増えて、早寝早起き朝ごはんの習慣が乱れている生徒があります。部活動に所属しない生徒が増えたことが、運動習慣が減っている原因と推察しています。
- ・問9の授業や行事など発言の場面で自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表することについては、各授業での取組の他にキャリア教育発表会や防災教育発表会など小学生との交流行事等が多数実施されました。目的意識を明確化して発表の機会を創出し取り組んだことで、マスク着用の困難さの中にあっても、主体的に頑張る姿が多く見られました。個々のコミュニケーション力や表現力の向上につながっています。継続的な取組により、さらに伸びると期待できます。